

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 広島府中教室 保護者等数(配布数) 21 回収数 19 割合 91 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19件					教室内のスペースを工夫しながら活動を行っていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14件	2件		3件	・入所時より先生方が増えています。専門性は存じ上げないので簡単なプロフィールがあったらいいと思います。 ・先生の専門や人数、名前等よく知らないので一覧で見られるのだと思います。	定期的にお便りなどを発行し、周知できるようにしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11件	3件		5件		トイレには手すりを配置しています。随時必要な箇所がありましたら手すりなどの配置を検討していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16件	2件		1件		これからも分かりやすく、皆様のニーズにあった計画を作成していくように努めます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17件	1件		1件	・いつも工夫して下さっています。外活動も多いので助かっています。 ・制作したり、外出したり長期休暇にプールをしたり固定化しない工夫がなされている。 ・体験を取り入れた季節のお出かけ等たくさんの企画していただき大変喜んでおります。子どももいつも楽しみにしています。	ありがとうございます。これからも子ども達にたくさんの経験・体験が出来るように活動プログラムを検討していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1件	3件		15件	・普段の様子がわからない。	児童館等との交流は現在行っていません。公園や道中等で地域の方と挨拶など触れ合う機会があります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17件	2件				これからも分かりやすく説明していきたいと思えます。疑問点などがありましたら教室までお問い合わせください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18件	1件			・その日良かった点や課題を伝えてくださるので成長などがわかりやすい。	ありがとうございます。今後も送迎時や面談時等にお伝えできたらと思います。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16件	3件		1件	・困ったこと等への助言を適切に行ってくれと感じます。 ・子供の障害特性をよく理解し支援頂けています。 ・面談があるのですか？相談すれば答えて頂けると思えますが。	年2回モニタリングを兼ねて面談を行っています。他にも随時面談希望がありましたら日程調整していますのでお気軽にご相談ください。
	10 保護者同士の連携が支援されているか	5件	7件	2件	5件	・お祭り等ですれ違うくらい。 ・参加したことはないが、交流の場があるとは聞いています。	イベントなどで保護者同士が交流できる場を提供していきたいと思えます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11件	1件	1件	6件		不満や苦情アドがありましたら、些細な事でも構いませんのでお話しください。より良い教室にしていけるために対応していきます。

	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16件		1件	2件	・HUGがあるので連絡がとりやすい。	HUGや送迎時等で随時情報共有できるようにしていきたいと思っておりますので協力よろしくお願いします。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14件	1件		4件		自己評価結果の集計が終わり次第HUGでお知らせしますのでご確認をお願いします。
	14	個人情報に十分注意しているか	17件			2件		個人情報に関しては研修などを行いながら適切に対応していきます。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9件	2件	1件	7件	・教えてください。	現在各マニュアルに関しては作成中です。作成が終わり次第HUGでお知らせしますのでご確認をお願いします。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1件	1件	1件	16件	・教えてください。	避難訓練の日時や報告はHUGでお知らせしますのでご確認をお願いします。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18件	1件			・イベントやお出かけを楽しみにしています。 ・大変楽しみにしています。いつもありがとうございます。 ・イベントが色々あるのでその日を来るのを楽しみにしています。 ・楽しく通わせていただいています。	ありがとうございます。これからも子ども達が楽しく通所できるように職員全員で工夫していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。
	18	事業所の支援に満足しているか	17件		1件	1件	・宿題が多いのでいつでも終わらせられる時間があつたら嬉しい。 ・自分でやる！ということがどんどん身についているように感じます。 ・職員の方みなさん明るく雰囲気が良いと感じます。いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。 ・いつもありがとうございます。	・宿題は自由時間等で取り組める時間は作っていますので声掛け等で促していきます。 ・子供たち、保護者のみなさまにより満足していただけるように職員一同取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願いします。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら広島府中教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用児童用ロッカーの配置で部屋分けを行っている。	身体を動かす活動の場合は部屋を狭く感じるので戸外で行うようにしていく。
	2 職員の配置数は適切である	○		情報共有、声の掛け合いをお行いながら支援を行っている。	緊急事態が起こった際の対応について検討していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		必要な個所に手すりをお配置してる。	新たに手すり等が必要な場所がないか随時検討していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		その日の振り返りや個々の対応について話し合いをしている。	休みや勤務時間によって参加できない職員へのより良い共有方法を検討していく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		開設後初めての自己評価になる為、今後保護者の意向等を教室運営に活かしていけるようにしていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		開設後初めての自己評価になる為、集計が終わり次第ホームページへの公開及びHUGで保護者への周知を行う。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価を行う予定はない。今後行うかは検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		リタリコ等で研修の機会を作っている。	十分に研修機会を確保できているとは言いがたい為、来年度の研修計画を立てていくよう努める。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時にアセスメントを行い利用児童の状況などを把握している。	アセスメント結果の職員へのより良い周知方法を検討していく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		定期的に現場の意見を聞きながらアセスメントツールの見直しを行っている。	高学年用のアセスメントツールの作成を検討していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		すべてむぼくすを中心に職員全員でプログラムを計画している。	誰でも意見を言いやすい環境を作っていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		主になる療育を中心に様々な経験・体験ができるように工夫している。	誰でも意見を言いやすい環境を作っていく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		療育の内容のバランスを考えながら支援している。	療育内容がマンネリ化しないように話し合いを行っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者や本人のニーズを把握しながら作成している。	集団活動を中心に療育を行っている。必要に応じて個別活動を行う時間を調整している。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		決められた時間にその日出勤の職員全員で打合せを行っている。	どの役割でも行えるように役割が固定化しないようにしていく。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返り時間を決め、簡潔に行うようにしている。	反省点などのより良い周知方法を検討していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		HUGを用いながら、利用児童の情報を共有しやすいようにしている。	定期的に記録の取り方等の研修を行う。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1回以上モニタリングを行うようにしている。	保護者との面談を通して利用児童の現在の状況等を確認していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		沢山の体験・経験ができるように支援を行っている。	地域との交流の場がほぼないのでどうやっていくか検討していく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管と現場職員2名で参加するようにしている。	出来るだけ会議に出席できるように調整している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要に応じて保護者の許可を取り、連携を行っている。	特殊な下校時間等があった場合は担当教諭に確認するようにしていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		指示書を基に連携している。	保護者の同意を得て、看護職員等が通院に同行するか検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		系列店とは連携しているが、他事業所との連携をどのようにしていくかを今後検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		ケースがない為今後必要に応じて体制などについて検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修機会があれば参加を検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		戸外遊びや公園への道中での地域の方とやり取りをする機会はあるが、児童館との交流などは今後必要か検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		現在参加できていない為会議の場があれば日程調整していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やHUGなどで日々の様子等を情報共有している。	より良い情報共有の方法がないか検討していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者からの希望があれば検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しながら疑問点などないか確認している。	専門用語等を用いずわかりやすく説明を行うようにしていく。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		いつでも面談をおこなうようにしている。	HUG等で連絡を取りやすい環境を作っていく。
	32	保護者同士の連携を支援している		○		必要に応じてイベント等で交流できる場を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		HUGを用いたり、送迎時に保護者とやり取りする時間を作っている。	苦情対応について保護者に周知していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		イベント等をHUGでお知らせするようにしている。	お便りを定期的に発行するか検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の誓約書を作成している。	個人情報に関する研修があれば参加していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		専門用語を用いないようにしている。	わかりやすい言葉で時間を作りながらゆっくりと話をする時間を作っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		兄弟児童の参加するイベントは企画しているので、地域の方については今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		現在作成している途中。完成次第HUG等を用いながら周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		今年度まだ行えていない訓練がある為、実施し、HUG等で保護者に周知していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修機会を設けている。	ストレスチェック等を行いながら定期的に職員が管理者等と面談する機会を作っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束の綱領を作成している。	身体拘束を行う場合については個別支援計画に明記するようにしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		アセスメント時に食物アレルギーに関しては聞き取りを行っている。アレルギーがある児童は別紙でわかるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハットの記載方法、周知についてマニュアルを作成していく。